

2023 (R5)



# 右馬先だま

大鹿村と松川町を結ぶ小浜線の道路沿いは卵の花盛り。緑の中に白い花が清楚で花嫁のようです。朝の寒さがまだ残っていた頃からようやく解放され、このところの日中の暑さは夏そのものの草木はグングン伸びてカットに行かなくちゃ駄目という感じ。ヒメツバクハ一気咲きイテハンからカキツバタ、アヤマニら辺りもよく解らなくなりました。涼し気な姿、色目のお花も次々と咲き「ハイカイケ」がこんもりと見事です。正介さんが大事にしているアツモリ草も品良く花開き玄関でお客様をお出迎えです。新茶が届き蚊と夜中に攻撃を開始しました。田に水が入り田植えが始まります。大自然の大いなるエネルギーと美しい感動を覚えつつもあの草とツバを思うとちよとんざり……なんて……なんと罰当たりな……心がけよう。大自然の恩恵を受けその喜びを感じながら一生けん命ゆらくこと。常に何が必要かを認識して

## 琵琶湖倶楽部の皆様方へ

と私たちのリーダー飯島清次さんからお葉書きが届きました。2017年5月20日に琵琶湖周遊の旅を終えて6年の歳月が流れました。今回は小田原市栢山<sup>がら</sup>で幼い頃からこぼれ流れる瀬白川<sup>せび</sup>の大洪水で全てを失いつつおそくに立ち向かい数々の教訓を後世に残して下さった二宮金治郎が植えた松並木5.5kmを歩く旅です。5月17日夏の暑さと重なったこの日汗ばんだ肌には川風が心地よい。エチアノ道はサイクリングコースに重なっているのをあららぶ<sup>(イリリイリ)</sup>、ちらと<sup>(まいたち)</sup>らおと大変という状態での駆けつけました。金次郎は昔の時200本の松(黒松)の苗を(自分で作った草鞋を売って得たお金で買った南禅)弟と植え毎年のように起す洪水に備えた。(坂口堤)足柄山富士山が美しく見え素晴らしい景色を楽しみ向ひなく労働に明け暮れた金次郎の生涯を改めて図書館へ行き本を貸して知ることが出来心に残る場所を計画して下さい。清次さんに感謝です。学んだ事 報徳精神 至誠と実行 積小為大(コツコツと積み重ねて大にする) 例えは"穀物の敵である雑草は悪である"すかさず全力でひきぬく。そうした努力こそ勤勉の真意